

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、9月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「情報処理技術が切り拓く未来」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■初音ミクことは知っているが、Wikipediaによるとこれは情報技術による音声（歌声）創造ソフトではなく、ヤマハの開発した音声合成システム「VOCALOID2」を採用したボーカル音源ということである。声の音源として藤田咲という声優の声が採用されているという。詳しいことは知らないが、シンセサイザーでさまざまな楽器の音源として人工音ではなくて実物の楽器の音を採用してそれをデジタル的に変形操作する形で利用しているのと同じような方法で人間の音声を利用しているのではないだろうか？ つまり初音ミクは“人間の声を変形合成したもの”であって、純粋にデジタル技術で声を創造したものではないと言える。言ってみればフェイクのロボット音声である。この頃は電話の番号案内はじめ、エレベータの案内音声などみな同様の技術で声を組み合わせて使っている。初音ミクの歌声は半分日本人の、半分無味乾燥なロボット音声の混ざり合った声であり、それが魅力的でもあるが、人間のような感情を込めた歌声にはならない。また日本語を元音源としているために欧州言語などの歌は歌えない、もしも完全に人工的に音声を合成して歌声に応用するのであれば、世界中の原語による歌声を作ることも可能になるだろう。自分としても評価はしているが、まだまだ何とか賞だか知らない賞をもらって浮かれるような高いレベルの人工音声による歌声ソフトとは言えないものだ。これに限らないが、とかく情報、計算機系の人たちは米国もそうだが、dog year ペースで新造語のキャッチフレーズを作ることにかけているようだ（皮肉で言っている）。私がかかわってきたスパコンの世界でもそうで、今はスパコンとは言わずHPCとかクラウドとか言っている。呼び方は変わっても実態はちっとも変わらないのがこれまた情報の世界である。ほかの地道な研究分野から入った人間としては若さ、元気さに感心する反面、このような浮ついたことには辟易としているのが現状である。

（廣瀬直喜）

特集「ソフトウェア工学の共通問題」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ソフトウェア工学を研究していく上で、重要なものだと思います。同時に、ソフトウェア開発実務における共通問

題ができると、教育・研究等の面で、有意義だと思われます。
（匿名希望）

■自分の中で良い解に到達できる課題であると認識していなかったためか、いきなり酒屋問題という未知のものを前提に話が展開されたためか、面白いと感じられなかった。（匿名希望）

■仕様策定、企画、業務改革やビジネス創出におけるIT活用といった超上流工程における各種技術を評価するための「共通問題」を考えることの方がより重要なのではないかと、思った。この点に関するソフトウェア工学コミュニティの取り組みを期待したいと思う。
（匿名希望）

「3. 酒屋問題再考」

■酒屋の在庫問題の話は特に面白かった。
（佐伯嘉康）

「6. ソフトウェア開発教育における共通問題」

■共通問題の形成を通じて、教育効果をより適切に測定できるようにする考え方が興味深かった。本質的に難しい問題であるが、試行錯誤の中からいくつかの典型的な共通問題が形成され利用されることを期待したい。
（匿名希望）

ミニ特集「現役プロ棋士に勝ち越したコンピュータ将棋」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■コンピュータ将棋、人間が敵わなくなったら、そのときはコンピュータと協調して闘うらしい。この社会的な意義としては、計算などのコンピュータが人間よりも優れた特性を人と共に活かすべきと、普通の人でも考えられるようになることではないかと思う。
（匿名希望）

■電王戦はずいぶん前に行われているのでもう少し早めに特集してほしい。
（匿名希望）

「1. コンピュータと心を持つ人間の違いを実感」

■チェスと異なり将棋の手数は無限で人間が負けるわけがないという、思い込みを根底から覆され驚いている。（匿名希望）

「6. コンピュータ将棋の今後」

■誰もが注目するであろう「いつ計算機がプロ棋士を完全に越えるか」の先を示している点が良い。
（匿名希望）

解説「プライバシー保護データパブリッシング」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■タイムリーで興味を引いた。データ分析においては、それによって得られる利益と、プライバシー保護の問題は、相反する問題だと思われるが、活用促進のためには避けて通れない問題と思われる。その技術的手法に興味がある。（石井一夫）

■ビックデータと盛んに言われる中、プライバシーの保護

が保証されかつ、できるだけ有効なデータの公開ができる PPDP (Privacy-preserving data publishing) 技術が確立されることを望みます。(匿名希望)

■思いもかけないえぐい攻撃例の数々に驚かされました。プライバシー情報を気軽に他人に流してしまっている人々にこれを理解してもらわないといけなことも気づいてさらに目の前が真っ暗です。(匿名希望)

教育コーナー「ぺた語義：情報入試」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■情報を入試に課す場合、問題作成等の難しさがあるが、ここで紹介された試作問題は、情報のみならず、今後期待される入試問題の例にもなっているように感じた。(匿名希望)

トピックス「研究会推薦博士論文速報」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■論文一覧の紹介だけで、推薦文では中々テーマについて考えを膨らますことが困難だった。パラパラとめくる程度に見るといくつか目をひかれるものもあるが、その論文が取り上げられるなら、きちんと読んでみたい。(匿名希望)

トピックス「情報処理 2012 年 5 月号別冊『特集』CGM の現在と未来：初音ミク、ニコニコ動画、ピアプロの切り拓いた世界」前代未聞の星雲賞受賞については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■特定の技術なのにはしゃぎ過ぎである。(匿名希望)

学会活動報告「情報技術の国際標準化と日本の対応」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「1.1 技術的トピックス」は非常に興味深く読めましたが、それ以降は項目が羅列しており、内容がよく分からなかったため、もう一工夫欲しいと思いました。(匿名希望)

■この手の活動報告・状況報告は重要性が高くても記事として見るとまったく面白くなってしまいうものであり仕方がない。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■自動車業界の IT の実状と未来への可能性や展望をテーマにしてほしい。(匿名希望)

■大きな時代のうねりを感じさせられる号でした。情報処理技術が切り拓く夢ある未来に期待します。(匿名希望)

■ビッグデータの活用について取り上げてほしい。(匿名希望)

■今後取り上げてほしいテーマ：初心者向けプログラミングとその教育法。(匿名希望)

【本欄担当 木村功作、横山昌平／会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「新しいリスクに対応するコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-M.html	11月29日（金）		
	2013年度喜安記念業績賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/topics/kiyasu_boshu2013.html	12月6日（金）		
11月18日（月）	東海支部主催講演会「ろう者と手話：「もうひとつの言語」 の地位と役割」 http://www.ipsj-tokai.jp/			岐阜大学
11月21日（木）	関西支部定期講演会『ゲーム・パズルの数理』 http://kansai.ipsj.or.jp/2013kouen/index.html		定員になり次第	大阪大学 中之島センター
11月21日（木）	第62回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip62.html	9月24日（火）	当日のみ	東京工芸大学 中野キャンパス
11月23日（土）～ 11月24日（日）	第30回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec30.html		当日のみ	淡路夢舞台
11月26日（火）	第158回データベースシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs158.html	10月17日（木）	当日のみ	京都大学 百周年時計台記念館
11月27日（水）～ 11月28日（木）	第6回Webとデータベースに関するフォーラム（WebDB Forum 2013） http://db-event.jp.org/Webdbf2013/			京都大学 百周年時計台記念館
11月27日（水）～ 11月29日（金）	第163回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm163.html	9月17日（火）	当日のみ	鹿児島県文化センター
11月28日（木）～ 11月29日（金）	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2013 http://www.ipsj.or.jp/sig/gw/gnws2013/	9月23日（月）		石和温泉華やきの章慶山（山梨県笛吹市）
11月28日（木）～ 11月29日（金）	第153回グラフィクスとCAD・ 第189回コンピュータビジョンとイメージメディア合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg153cvim189.html	9月27日（金）	当日のみ	九州大学西新プラザ
11月29日（金）	第92回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd92.html	10月7日（月）	当日のみ	セコム本社セコムホール
11月29日（金）	短期集中セミナー「Exciting Coding！2013 ～ITスペシャリストが語るクラウドシステム／アプリ開発の面白さ～」 http://www.ipsj.or.jp/event/s-seminar/2013/Exciting_Coding/		11月25日（月）	日立ソリューションズ JR品川駅イーストビル 20F 会議室
12月2日（月）	第126回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is126.html	10月9日（水）	当日のみ	室蘭工業大学 東京オフィス・青山
12月3日（火）	第127回システムソフトウェアとオペレーティング・システム・ 第31回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os127emb31.html	10月18日（金）	当日のみ	芝浦工業大学 豊洲キャンパス
12月4日（水）	東海支部主催講演会「名古屋科学館のプラネタリウム」 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2013.html			東桜会館 （愛知県名古屋市）
12月4日（水）～ 12月5日（木）	第25回コンピュータシステム・シンポジウム（ComSys2013） http://www.ipsj.or.jp/sig/os/			芝浦工業大学 豊洲キャンパス
12月4日（水）～ 12月6日（金）	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ（DPSWS2013） http://www.dpsws.org/2013/	8月23日（金）		ホテル櫻井 （群馬県吾妻郡）
12月5日（木）～ 12月6日（金）	第83回オーディオビジュアル複合情報処理研究会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm83.html	10月18日（金）	当日のみ	京都工芸繊維大学
12月9日（月）	第63回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec63.html	10月25日（金）	当日のみ	東京工科大学 八王子キャンパス
12月8日（日）	IPSJ International AI Programming Contest “Samurai Coding 2013” http://samuraicoding.info/			東京大学 本郷キャンパス
12月11日（水）～ 12月12日（木）	第96回数理モデル化と問題解決・ 第36回バイオ情報学合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps96bio36.html	10月16日（水）	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
12月12日（木）～ 12月13日（金）	インターネットと運用技術シンポジウム（IOTS2013） http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iots2013.html	9月13日（金）		広島大学 （東広島キャンパス）
12月12日（木）～ 12月14日（土）	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2013」 http://jinmoncom.jp/sympo2013/	8月28日（水）	当日可	京都大学 百周年時計台記念館
12月14日（土）～ 12月15日（日）	第122回コンピュータと教育・ 第11回教育学習支援情報システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce122cle11.html	10月17日（木）	当日のみ	琉球大学
12月16日（月）	連続セミナー 2013 第6回「クラウドソーシングとソーシャルメディア」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]大阪大学
12月16日（月）～ 12月17日（火）	第199回計算機アーキテクチャ・ 第142回ハイパフォーマンスコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc199hpc142.html	10月4日（金）	当日のみ	北海道大学学術 交流会館
12月19日（木）～ 12月20日（金）	第99回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp99.html	10月16日（水）	当日のみ	筑波大学 文京キャンパス
12月19日（木）～ 12月20日（金）	第69回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl69.html ※参加締切日：詳細は http://www.ishilab.net/mbl/program/2013/69.html をご覧ください	10月18日（金）		国立女性教育会館
12月20日（金）～ 12月22日（日）	第101回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus101.html	10月21日（月）	当日のみ	九州大学
2014年				
	2013年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/topics/nagao_boshu2013.html	1月10日（金）		

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-K.html	2月21日（金）		
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/jigyoku/happyou/index.html#syorui	2月28日（金）		
	論文誌「洗練された社会を作り上げるモバイル通信と高度交通システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-C.html	3月31日（月）		
1月7日（火）～ 1月8日（水）	2014年ハイパフォーマンスコンピューティングと 計算科学シンポジウム（HPCS2014） http://hpcs.hpcc.jp/			学術総合センター 一橋記念講堂
1月10日（金）～ 1月12日（日）	第55回プログラミング・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/prosym/55/55CFP.html			ラフォーレ伊東
1月14日（火）～ 1月15日（水）	第97回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro97.html	11月15日（金）	当日のみ	松山市総合コミュニ ティセンター
1月23日（木）～ 1月24日（金）	第200回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc200.html	11月22日（金）	当日のみ	東京工業大学
1月23日（木）～ 1月24日（金）	第190回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim190.html	11月1日（金）	当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス
1月28日（火）～ 1月29日（水）	第164回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm164.html	11月15日（金）	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月30日（木）～ 1月31日（金）	第146回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al146.html	12月1日（日）	当日のみ	函館市民会館
3月11日（火）～ 3月13日（木）	情報処理学会 第76回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/76/		11月25日（月） 12:00迄	東京電機大学 東京千住キャンパス
9月3日（水）～ 9月5日（金）	FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html			筑波大学 筑波キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 10月17日 論文誌「洗練された社会を作り上げるモバイル通信と高度交通システム」特集 論文募集
- 10月15日 人材募集情報 (Vol.54 No.11)
- 10月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.54 No.11)
- 10月04日 2013年度論文賞候補論文推薦募集
- 10月01日 2013年度喜安記念業績賞候補者推薦募集
- 10月01日 2013年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集
- 10月01日 2014年度代表会員候補者の募集

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
カタログ同封
サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。

通常の DM と異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

①封入希望月の前月 15 日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。

- ◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望月
- ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
- ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。

②封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。

- ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax 可）。
- ◆納品業者をお知らせください。

③納品日は封入希望月の 5 日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。日付指定にて必要枚数（20,000 枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。

- ※ 納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
- ※ 納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。

④カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。

⑤後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1 通あたり
約16 円！

※ 価格はすべて税込

基本価格 367,500 円

対象：全会員 20,000 通 配布

（正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員）

大学や
共催事業は
さらに割引も！

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
（基本価格の 40% Off !） 220,500 円

情報処理学会主催・共催事業*
（基本価格の 80% Off !） 73,500 円

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4 判または A3 判二つ折り（その他についてはご相談ください）
用紙：色上質厚口（四六判 80kg）またはコート紙（四六判 90kg）相当

問合せ先

〔広告代理店〕 アドコム・メディア（株） E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

新規会員
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

- 機関誌（「情報処理」「情報処理学会論文誌」）の発行
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー他）
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

正会員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わっているかまたは興味のある個人
学生会員：学校に在学中の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人

賛助会員

当学会の活動をサポートする法人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。

特集：スマートフォンプログラミング 2～iPhone/Android/Windows Phone によるセンサプログラミング～/ゲーム情報学/不自然言語処理～枠に収まらない「リアルな」言語処理～/研究会推薦博士論文速報/日本を元気にする ICT/CGM の現在と未来：初音ミク、ニコニコ動画、ピアプロの切り拓いた世界/コンピュータグラフィックスの新展開/大学教育の質保証/スーパーコンピュータ「京」/金融市場における最新情報技術/コンシューマが切り拓くデジタル化社会の新しい潮流/観光情報学/電子書籍の未来、他

2 実務の現場で IT を実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」が年 4 回お手元に届きます。

特集：CIO は決断する（1 月刊行）/高度 IT 資格制度（4 月刊行）/減災 ICT（7 月刊行）/情報が観光を創る・磨く・鍛える（10 月刊行）

3 電子図書館（情報学広場）で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4 「連続セミナー」に会員価格（7,000 円お得）で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2012 年度は「ビッグデータとスマートな社会」をテーマに、6 回の開催があります。

5 ホットピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」（5,000 円以上お得）や「研究会」に会員価格で参加できます。

インターネット、E ビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組み込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギュラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスベクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNA コンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。



2012 年

ホット
ピックス

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

CONTENTS

Preface

Educating Go at University

Yukari YOSHIHARA (Professional go player)

Special Features

Utilizing Open Data

1202 0. Foreword

Masahiko SHOJI (International Univ. of Japan)

1204 1. Open Data and Linked Open Data

Ikki OHMUKAI (National Institute of Informatics)

1211 2. Digital Archives and Visualization - Applications for Historical Data and Big Data -

Hidekazu WATANABE (Tokyo Metropolitan Univ.)

1217 3. Harnessing the Power of Data Science for Open Data

Takuya KUDO (Accenture)

1221 4. Trend of Open Data in the Field of Geospatial Information

Yoshihide SEKIMOTO and Toshikazu SETO (The Univ. of Tokyo)

1226 5. Data Sharing the Life Sciences

Ayumi KOSO (Japan Science and Technology Agency (JST))

1232 6. Copyright and Licensing Issues for Open Data : Tension between Legal System and Openness

Tomoaki WATANABE (International Univ. of Japan)

1238 7. International Preparation for the Reuse of Data

Soichiro TAKAGI (NTT Data Corp.)

1244 8. Preparation for the Reuse of Data in Japan

Masahiko SHOJI (International Univ. of Japan)

Articles

1248 Handwritten Address Recognition Written in Western Language for Letter Sorting

Tomoyuki HAMAMURA (Toshiba Corp.)

Series : Recent Trends of ICT Application to Railway Operation and Signaling Systems

1254 Train Rescheduling in Railways - State of the Arts and the Future -

Norio TOMII (Chiba Institute of Technology) and Keisuke SATO (Railway Technical Research Institute)

Senior Column : Messages on Favorite IT

1264 IT System Development and Ambiguity

Taizo NAUCHI

"Peta-gogy" for Future

1265 Train the Learning Facilitators

Masahiko KATO (IT Training Vendor Consortium)

1266 Quantitative Evaluation for Software Development PBL using Cloud Computing

Hiroshi IGAKI (Osaka Univ.), Naoki FUKUYASU (Wakayama Univ.), Sachio SAIKI and Shinsuke MATSUMOTO (Kobe Univ.)

1270 New Horizons of Large Scale Online Course Platform TIES for Higher Education in Japan

Masumi HORI (NPO CCC-TIES / Tezukayama Univ.)

1262 Biblio Talk

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーをFax等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。

※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.54 No.11 (Nov. 2013)

【一般論文】

■ いくつかの f ダイバージェンス間の不等式について†

一森哲男

■ 放送通信融合環境における再生端末の受信済データを考慮した
ストリーミング配信手法

梅澤真弘 他

■ P2P ストリーミング環境におけるモデル・動作分離型コンテン
ツの再生途切れ時間短縮方式*

横山正浩 他

■ 現実的な都市環境モデリングに基づく行動センシングシステム
シミュレータの設計開発*

金谷拓実 他

■ Fuzzy Commitment Scheme を用いたバイOMETリック暗号に
おける保護テンプレートの安全性評価*

披田野清良 他

■ Web を用いた企業認知状況の把握と企業 PR への活用

上野山勝也 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

●配 信 数：約 25,000 通（原則毎週月曜日配信）

●読 者 層：本会会員および非会員

●形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。

●掲載位置：ヘッダ（目次の上）

フッタ（本文の最下行）

●掲 載 料：ヘッダ：1 回 52,500 円（税込）※3 社限定

フッタ：1 回 21,000 円（税込）

※ それぞれ行数超過については別途相談

●申 込 先：[広告代理店]

アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519

または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371

●申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。

●見 本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1 月 10 日（火）・11 日（水）・12 日（木）13：00～17：00

会場：○○コンベンションセンター

会費：情報処理学会会員の方には割引があります。

詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)

賛助会員(企業) 31,500円(〃)

賛助会員以外の企業 52,500円(〃)

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部(有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■熊本大学大学院先導機構

募集人員 助教 1名(テニュアトラック[※])

*採用後、3年経過後に中間審査を行い、4年経過後にテニュア審査を行います。審査の結果テニュアの資格があると認められた場合は、大学院自然科学研究科の准教授(任期の定めなし)に昇進することができます

専門分野 知覚情報処理分野(キーワード:生体信号処理、知能ロボティクス、バーチャルリアリティ、情報センシング、ヒューマンインタフェース、eラーニングなど)

応募資格 (1)博士の学位を有する若手研究者(博士号取得後10年以内(2014年4月1日現在))、(2)上記の専門分野において、優れた研究能力および研究業績を有すること、(3)英語でのコミュニケーションと英語による指導ができること。外国人の場合には、学内外における諸業務の遂行が可能な日本語能力を有すること

着任時期 2014年4月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類 (1)履歴書、(2)研究業績リスト、(3)主要論文別刷(5編まで、コピー可)、(4)これまでの研究の概要(A4用紙2枚以内)、ならびに今後5年程度の研究計画および抱負(A4用紙4枚以内)、(5)本人についての所見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先・E-mailアドレス

応募締切 2013年11月29日(必着)

送付先 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻 専攻長 松島 章
「テニュアトラック教員応募書類在中」と朱書き簡易書留

照会先 情報電気電子工学専攻 人間環境情報講座 内村圭一 E-mail: uchimura@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)342-3638(直通)

その他 詳細はWebページ(<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>)を参照ください

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員 教授または准教授 1名

専門分野 情報工学(信号処理)または関連分野

学 科 目 知能情報メディア工学

担当科目 デジタル信号処理、論理回路、情報工学実験、情報基礎ゼミナール

応募資格 専門分野のうち、特に学科目に関連ある分野で教育・研究業績があり、以下の項目に該当する方

1)博士の学位を有する方、2)大学院の教育・研究指導を担当可能な方、3)教育経験のある方が望ましい

着任時期 2014年4月1日

提出書類 ①履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動)、②研究業績リスト(著書、学術誌論文(査読付き)、国際会議論文、その他論文を区別して記載)、③主要論文別刷(5編程度)、④これまでの研究概要と今後の研究計画、⑤本学における教育研究に対する抱負、⑥応募者の状況を説明できる方2名の氏名・所属・連絡先

*紙での提出に加え、電子ファイル等のデジタルデータをUSBメモリまたはCDでも提出してください。ただし、③は除く

応募締切 2013年12月6日(必着)

送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310

「情報工学科教員信号処理応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください

照会先 情報工学科 教授 徐 海燕 E-mail: xu@fit.ac.jp Tel(092)606-4892 Fax(092)606-1342

■富山大学大学院理工学研究部（工学部知能情報工学科担当）

募集人員 教授 1名
 専門分野 情報・通信分野（情報工学にかかわる応用研究分野）
 担当科目 確率統計論，電気回路工学など
 応募資格 博士の学位を有し，大学院博士課程の授業が担当できること
 着任時期 2014年4月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書，(2)研究業績等リスト（①著書，②学術論文，③国際会議発表論文，④解説，総説，⑤その他の論文，⑥特許，⑦外部教育研究資金の獲得状況，⑧受賞歴，⑨学協会および社会における活動状況），(3)主要論文別刷（5編程度），(4)現在までの主要研究内容と成果（A4用紙1枚，1000字程度），(5)今後の教育，研究に対する抱負（A4用紙1枚，1000字程度）
 応募締切 2013年12月9日（必着）
 送付先／照会先 〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部知能情報工学科 学科長 田島正登
 E-mail: tajima@eng.u-toyama.ac.jp Tel(076)445-6766
 「情報通信分野教員（教授）応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則としてお返しいたしません
 その他 (1)書類選考後，面接を行います，(2)富山大学は男女共同参画を推進しています。女性の積極的な応募を歓迎します，(3)詳細はWebページ (<http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>) をご覧ください

■富山大学大学院理工学研究部（工学部知能情報工学科担当）

募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野 情報・通信分野（信号処理，生体計測など）
 担当科目 線形代数，数値解析，ヒューマンコンピュータインタラクションなど
 応募資格 博士の学位を有し，大学院博士課程の授業が担当できること
 着任時期 2014年4月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書，(2)研究業績等リスト（①著書，②学術論文，③国際会議発表論文，④解説，総説，⑤その他の論文，⑥特許，⑦外部教育研究資金の獲得状況，⑧受賞歴，⑨学協会および社会における活動状況），(3)主要論文別刷（5編程度），(4)現在までの主要研究内容と成果（A4用紙1枚，1000字程度），(5)今後の教育，研究に対する抱負（A4用紙1枚，1000字程度）
 応募締切 2013年12月9日（必着）
 送付先／照会先 〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部知能情報工学科 学科長 田島正登
 E-mail: tajima@eng.u-toyama.ac.jp Tel(076)445-6766
 「情報通信分野教員（准教授または講師）応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則としてお返しいたしません
 その他 (1)書類選考後，面接を行います，(2)富山大学は男女共同参画を推進しています。女性の積極的な応募を歓迎します，(3)詳細はWebページ (<http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>) をご覧ください

■富山大学大学院理工学研究部（工学部知能情報工学科担当）

募集人員 助教 1名（任期5年，再任可）
 専門分野 情報・通信分野（光通信システムなど）
 担当科目 情報ネットワーク，電子回路工学，知能情報工学実験など
 応募資格 博士の学位を有し，大学院博士課程の授業が担当できること
 着任時期 2014年4月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書，(2)研究業績等リスト（①著書，②学術論文，③国際会議発表論文，④解説，総説，⑤その他の論文，⑥特許，⑦外部教育研究資金の獲得状況，⑧受賞歴，⑨学協会および社会における活動状況），(3)主要論文別刷（5編程度），(4)現在までの主要研究内容と成果（A4用紙1枚，1000字程度），(5)今後の教育，研究に対する抱負（A4用紙1枚，1000字程度）
 応募締切 2013年12月9日（必着）
 送付先／照会先 〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部知能情報工学科 学科長 田島正登
 E-mail: tajima@eng.u-toyama.ac.jp Tel(076)445-6766
 「情報通信分野教員（助教）応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則としてお返しいたしません
 その他 (1)書類選考後，面接を行います，(2)富山大学は男女共同参画を推進しています。女性の積極的な応募を歓迎します，(3)詳細はWebページ (<http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>) をご覧ください

■静岡大学大学院情報学研究科

募集人員	教授 1名
所 属	情報学専攻理工系情報学分野
専門分野	情報科学分野
担当科目	情報科学に関する大学院および学部の教科
応募資格	(1)博士の学位を有する方またはそれと同等の業績を有する方, (2)次世代を担う情報科学の教育研究に対するビジョンを持ちリーダーシップを発揮できる方
着任時期	2014年4月1日
提出書類	(1)履歴書, (2)研究業績リスト(主要な業績5点に○印をつけ, その5点につき各100字程度の概要を記してください), (3)前記○印をつけた業績の別刷(コピー可), (4)組織や学会での企画・運営に関する実績リスト, 外部資金獲得の実績リスト, (5)教育・研究・運営・社会貢献に関する抱負(2000字程度, 本研究科の教育内容に留意して記述してください), (6)応募者に関する所見を求め得る2名の方の氏名・所属・連絡先・E-mailアドレス
応募締切	2013年12月10日(必着)
送 付 先	〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学大学院情報学研究科長 「情報学研究科(情報科学)教員応募書類」朱書き簡易書留 *応募書類の返却を希望される場合には切手を貼付した返却用封筒を同封してください
照 会 先	情報学研究科 教授 中谷広正 E-mail: nakatani@inf.shizuoka.ac.jp Tel(053)478-1482
そ の 他	男女共同参画を推進する静岡大学の「ビジョンと戦略」を重視し, 評価が同等の場合は女性の候補者を優先します 本研究科の構成・教育・研究の内容等については, 情報学研究科/情報学部Webページ(http://www.inf.shizuoka.ac.jp/)をご覧ください

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

2013 年度山下記念研究賞表彰（概要）

詳細は学会 Web サイト (http://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html) をご覧ください。

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈いただいた資金を活用するため、1994年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は36研究会の主査から推薦された計52編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定された上で、理事会（2013年7月）および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の下記受賞者には、3月11日に東京電機大学で開催される第76回全国大会の席上で表彰状、賞牌、賞金が授与されます。

【コンピュータサイエンス領域】

- 個々のノードの視点に基づく機能コミュニティ抽出法
[Web とデータベースに関するフォーラム (WebDB Forum 2012) (2012/11/21)] (データベースシステム研究会)
伏見卓恭君 (学生会員)
 - アウトオブオーダー型データベースエンジン OoODE の試作とその実行挙動
[データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2013) (2013/3/3)] (データベースシステム研究会)
合田和生君 (正会員)
 - UNICOEN: 複数プログラミング言語対応のソースコード処理フレームワーク
[ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム (SES2012) (2012/8/28)] (ソフトウェア工学研究会)
坂本一憲君 (正会員)
 - 業務観点でのレビューを目指した不具合情報の分析
[2013-SE-179 (2013/3/12)] (ソフトウェア工学研究会)
森崎修司君 (正会員)
 - コア数と動作周波数の動的変更によるメニーコア・プロセッサ性能向上手法の提案
[2012-ARC-200 (2012/5/8)] (計算機アーキテクチャ研究会)
今村智史君 (学生会員)
 - Tightly Coupled Accelerators アーキテクチャ向け通信機構の予備評価
[2012-ARC-202 (2012/12/13)] (計算機アーキテクチャ研究会)
埜 敏博君 (正会員)
 - 準仮想化ページフォルトを用いたポストコピー型ライブマイグレーションの性能向上手法
[コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2012) (2012/12/6)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
広瀬崇宏君 (正会員)
 - 動的複数電源電圧およびフロアプラン統合化アーキテクチャを対象とした低電力化高位合成手法
[DA シンポジウム 2012 (2012/8/30)] (システム LSI 設計技術研究会)
阿部晋矢君 (学生会員)
 - Routability-oriented Common-Centroid Capacitor Array Generation
[2012-SLDM-158 (2012/11/28)] (システム LSI 設計技術研究会)
中武繁寿君 (正会員)
 - 「京」のための MPI 通信機構の設計
[先進的計算基盤システムシンポジウム (SACSIS2012) (2012/5/18)] (ハイパフォーマンコンピューティング研究会)
住元真司君 (正会員)
 - Tofu ネットワークにおけるプロセス配置形状による集団通信アルゴリズムの性能解析
[2012-HPC-136 (2012/10/4)] (ハイパフォーマンコンピューティング研究会)
南里豪志君 (正会員)
 - 解析表現文法と Scheme マクロ展開器を用いた JavaScript 向け Hygienic 構文マクロシステムの実装
[(2013/1/16)] (プログラミング研究会)
甬水佳奈子君 (正会員)
 - 無理数遷移確率ランダムウォークの脱乱択化
[2012-AL-142 (2012/11/2)] (アルゴリズム研究会)
白髪丈晴君 (学生会員)
 - 混合正規分布モデルを用いた経時観測蛍光画像からの細胞核の検出と追跡手法
[2013-MPS-92 (2013/2/27)] (数理モデル化と問題解決研究会)
瀬尾茂人君 (正会員)
 - GPU 制御用ファームウェア開発環境
[組込みシステムシンポジウム (ESS2012) (2012/10/19)] (組込みシステム研究会)
藤居祐輔君 (学生会員)
- ### 【情報環境領域】
- 秘密分散法に基づくセキュアな無線通信リンクの形成一狭ビーム形成の効果とその弊害—
[2012-DPS-152 (2012/9/13)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
山中仁昭君 (正会員)
 - 密な基地局群の無線相互干渉調停のための空間分割スケジューリング技術
[DPS ワークショップ 2012 (2012/10/18)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
山口弘純君 (正会員)
 - SpecificFont: 受け手の状況を考慮したメッセージの提示を実現するためのフォントの提案
[2012-HCI-150 (2012/11/2)] (ヒューマンコンピュータインタラクション研究会)
野間田佑也君 (正会員)
 - アクティブ音響センシングを用いた把持状態認識
[インタラクション 2013 (2013/3/1)] (ヒューマンコンピュータインタラクション研究会)
大野 誠君 (学生会員)
 - 例示ベースの弾性変形の実時間計算手法
[Visual Computing / グラフィクスと CAD 合同シンポジウム 2012 (2012/6/23)] (グラフィクスと CAD 研究会)
小山裕己君 (学生会員)
 - ポリウムレンダリングにおける伝達関数の推定法
[2012-CG-148 (2012/8/29)] (グラフィクスと CAD 研究会)
渋谷雄平君 (学生会員)

- エージェント技法を用いた津波避難評価システムの構築と社会実装
[2013-IS-123 (2013/3/15)] (情報システムと社会環境研究会)
中居楓子君 (学生会員)
- **Twitter と Blog の共通ユーザプロフィールを利用した Twitter ユーザ属性推定**
[2013-IFAT-109 (2013/1/11)] (情報基礎とアクセス技術研究会)
伊藤 淳君 (正会員)
- 未来の在室情報を予報する在室管理システム「Docoitter」の開発
[マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム (DICOMO2012) (2012/7/5)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
田中優斗君 (学生会員)
- ゲームフィケーションを活用した自発的行動支援プラットフォームの試作と実践
[2013-GN-87 (2013/3/19)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
根本啓一君 (正会員)
- 東日本大震災にともなう歴史資料保全の取り組み
[2012-DD-86 (2012/7/20)] (デジタルドキュメント研究会)
天野真志君 (正会員)
- グリッドグラフを利用した位置推定手法
[2012-MBL-64 (2012/11/16)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
久保 健君 (正会員)
- 重量符号化を用いた無線通信における転送量に基づく電力割当方式の設計と評価
[2012-MBL-64 (2012/11/16)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
青木勇太君 (正会員)
- テイント伝搬に基づく解析対象コードの追跡方法
[コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2012) (2012/10/30)] (コンピュータセキュリティ研究会)
川古谷裕平君 (正会員)
- 秘匿計算上の集約関数中央値計算アルゴリズム
[コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2012) (2012/10/31)] (コンピュータセキュリティ研究会)
濱田浩気君 (正会員)
- ビッグデータ分析を活用した電気自動車充電ステーション推奨技術の研究
[2012-ITS-51 (2012/11/15)] (高度交通システム研究会)
川野晋一郎君 (正会員)
- 分散データストアシステムに対する **EnergyCapping** 制御
[2012-EVA-38 (2012/8/2)] (システム評価研究会)
菅 真樹君 (学生会員)
- **Control Manually**: 視聴者協力型ライブ演出システムによるコミュニケーションと演出効果の拡張
[2012-UBI-35 (2012/7/14)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)
米澤拓郎君 (正会員)
- CPU クロック制御によるサーバのピークエネルギー消費削減の試み
[2012-IOT-19 (2012/9/28)] (インターネットと運用技術研究会)
石島 悌君 (正会員)
- 一般カードを用いた認証システムにおけるハッシュ関数を用いた PIN コード生成方式
[インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2012) (2012/12/13)] (インターネットと運用技術研究会)
清水さや子君 (正会員)

- ネットショッピング・オークション利用に際する不安調査結果に対する一考察
[コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2012) (2012/10/31)] (セキュリティ心理学とトラスト研究会)
山本太郎君 (正会員)
 - ホームネットワークマップ特定プロトコル **HTIP** の設計と診断ツールへの適用
[2012-CDS-4 (2012/5/10)] (コンシューマデバイス&システム研究会)
美原義行君 (正会員)
- [メディア知能情報領域]**
- **Split Head Automata** による依存構造解析
[2012-NL-206 (2012/5/10)] (自然言語処理研究会)
林 克彦君 (正会員)
 - **Binary code-based Human Detection**
[2012-CVIM-182 (2012/5/24)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
山内悠嗣君 (正会員)
 - フレーム間の連続性を保持する動画編集法
[2012-CVIM-184 (2012/12/4)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
谷田川達也君 (学生会員)
 - プログラミング初学者の段階的な理解モデルの検討とツールによる支援
[2013-CE-118 (2013/2/9)] (コンピュータと教育研究会)
保福やよい君 (正会員)
 - ビジュアル型言語とテキスト記述型言語の併用によるプログラミング入門教育の試みと成果
[2013-CE-119 (2013/3/15)] (コンピュータと教育研究会)
松澤芳昭君 (正会員)
 - 古代エジプト神官文字写本を対象とした言語情報表示システムの試作
[人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん 2012) (2012/11/17)] (人文科学とコンピュータ研究会)
永井正勝君 (正会員)
 - 関連史料収集のための手法に関する考察 ―日本の南北朝期における史料を対象に―
[2013-CH-97 (2013/1/25)] (人文科学とコンピュータ研究会)
山田太造君 (正会員)
 - ピアノ演奏補助情報からの独立を促す学習支援システムの構築
[2012-MUS-96 (2012/8/10)] (音楽情報科学研究会)
竹川佳成君 (正会員)
 - 音声データの隠れ属性を利用した異種音響モデル群の構築
[2012-SLP-93 (2012/10/26)] (音声言語情報処理研究会)
福田 隆君 (正会員)
 - ソーシャルメディア利用における亡くなったユーザ情報の扱いに関する一考察
[2012-EIP-57 (2012/9/13)] (電子化知的財産・社会基盤研究会)
折田明子君 (正会員)
 - 大規模な対局に基づいた教師データの重要度の学習
[ゲームプログラミングワークショップ 2012 (2012/11/9)] (ゲーム情報学研究会)
佐藤佳州君 (正会員)
 - 起立一着席訓練のためのリハビリテーション用シリアスゲームの介護老人保健施設への導入
[2012-EC-24 (2012/5/14)] (エンタテインメントコンピューティング研究会)
松隈浩之君 (正会員)

- 鍵盤上への演奏補助情報投影機能をもつピアノ学習支援システムにおける熟達化プロセスの調査
[2013-EC-27 (2013/3/15)] (エンタテインメントコンピューティング研究会)
竹川佳成君 (正会員)

- Predicting Protein-RNA Residue-base Contacts Using Two-dimensional Conditional Random Field
[2012-BIO-30 (2012/8/9)] (バイオ情報学研究会)
林田守広君 (正会員)

- LMS との連携を実現するための LTI 準拠学習支援ツールの実装例と実装方法
[2012-CLE-8 (2012/11/2)] (教育学習支援情報システム研究会)
村上幸生君 (学生会員)



CAMPAIGN OF JIP FOR FREE PUBLICATION CHARGE

Journal of Information Processing

The Editorial Committee of the Journal of Information Processing (JIP) is very pleased to announce two years extension of the campaign of free publication. The publication fee is not charged for the accepted papers submitted by July 31 2015 regardless of authors' membership. It would be grateful if you could take this opportunity and submit your papers to the flagship international journal, JIP.

JIP (Journal of Information Processing) に採択された英文論文の掲載料を無料にするキャンペーンを行っています。

対象は 2015 年 7 月 31 日までに投稿された英文論文です。これは、非会員による投稿論文にも適用されます。

このキャンペーンを利用して、ぜひ多くの英文論文をご投稿ください。 http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms_side.html

情報処理学会 論文誌ジャーナル, JIP (Journal of Information Processing) では、随時、一般論文・テクニカルノートの投稿受付をいたしております。また、特集号の論文募集も数多くいたしておりますので、ぜひ学会 Web ページの最新情報をご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/journal/index.html>, <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/index.html>

Journal of Information Processing (JIP) は、インターネット上のオンライン媒体 J-STAGE にて季刊発行しています。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjip/>

Contact to Technical Activity Section, Information Processing Society of Japan (IPSJ) E-mail: editt@ipsj.or.jp

日本のコンピュータ史

The History of Japanese Computers

情報処理学会歴史特別委員会 編
A5判・388頁 定価7980円(本体7600円+税)

1980年から2000年の20年間の日本のコンピュータの歴史を情報処理学会歴史特別委員会で検証してまとめたものです。この時代は、パソコンとインターネットの時代へとITが大きく変貌と遂げた激変の時代であり、その最前線で関わった人たちによって執筆されています。

1960年以前の歴史をまとめた「日本のコンピュータの歴史」と1960年から1980年をまとめた「日本のコンピュータ発達史」をCD-ROMに収録して添付しています。



【編集委員会】

委員長：笈田 弘(前沖電気工業株式会社)

幹事：松永俊雄(東京工科大学名誉教授)

委員：旭 寛治(前株式会社日立製作所)／鶴飼直哉(前富士通株式会社)／浦城恒雄(東京工科大学名誉教授)／坂井修一(東京大学)／前島正裕(国立科学博物館)／山田昭彦(コンピュータシステム&メディア研究所)／和田英一(東京大学名誉教授)

【目次】

第1章 日本のコンピュータ史概論(1980年まで)

第2章 日本のコンピュータ史概論(1980年から2000年まで)

第3章 日本のコンピュータの発展 汎用大型コンピュータ(メインフレーム)／オフィスコンピュータ／パーソナルコンピュータ／スーパーコンピュータ／ワークステーション・サーバ／日本語ワードプロセッサ(ワードプロセッサ)／周辺機器／専用端末装置システム／ソフトウェア／文字コード／大学など研究機関での活動

第4章 ネットワーク社会への展開 ネットワーク環境の変遷／OSIの始まりと終焉／インターネット／モバイルコミュニケーション／電子商取引

第5章 情報技術分野の主要な研究開発プロジェクト 概要／第五世代コンピュータ／科学技術用高速計算システム／リアルワールド・コンピューティング／TRONプロジェクト／DIPS

第6章 その後の進展と今後の展望

年表・年譜

「日本のコンピュータ史」購入申込書

送付先 ■ 〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 一般社団法人 情報処理学会出版担当

Tel: (03)3518-8371 (部門直通) Fax: (03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp

会員価格 ■ (送料・税込み) **7,182 円**

*学会間の相互協力により、情報処理学会、電気学会、照明学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会の5学会の個人・法人会員の方は、会員価格で購入できます。

記入欄

◎所属学会

学会名: _____ 会員 No.: _____

◎購入申込冊数

購入申込冊数 _____ 冊 合計金額 _____ 円

◎お支払い方法 下記の該当お支払い方法にチェック☑し、見積・納品・請求書の希望枚数をご記入ください。

○お支払い方法: ☐ 銀行 ☐ 郵便振替 ☐ 現金持参

○見積・納品・請求書(3枚綴り): _____ 通 希望 請求書宛先: _____

◎送付先(※は必須事項)

ご氏名*: (漢字) _____ (カナ) _____

送付区分*: ☐ 自宅 ☐ 勤務先

ご住所*: 〒 _____

会社/学校名: _____ 所属: _____

Tel*: _____ Fax: _____

E-mail*: _____

●通信欄 (要望事項等あればご記入ください)



新刊!!

**ITText
数理最適化**

 久野誉人・繁野麻衣子・後藤順哉 共著
 A5判/272頁/本体3,300円(税別)

**ITText
メディア学概論**

 山口治男 著
 A5判/172頁/本体2,400円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピュータ**

 河村一樹・和田 勉・山下和之・立田ルミ・
 岡田 正・佐々木整・山口和紀 共著
 A5判/176頁/本体2,200円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報と社会**

 駒谷昇一 編著
 A5判/220頁/本体2,500円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報システム基礎**

 神沼靖子 編著
 A5判/228頁/本体2,500円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング**

 河村一樹 編著
 A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText コンパイラとバーチャルマシン

 今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
 A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

 魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・
 向井信彦 共著
 A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

 松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
 A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム

 鹿野清宏・伊藤克亘・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
 A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)

ITText エージェント工学

 西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
 A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

 岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
 A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

 野口健一郎 著
 A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText データベース

 速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
 A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

 伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
 A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

 海野 敏・田村恭久 共著
 A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText 人工知能

 本位田真一 監修 松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
 A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

 内田啓一郎・小柳 滋 共著
 A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText データマイニングの基礎

 元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著
 A5判/292頁/本体3,200円(税別)

ITText 自然言語処理

 天野真家・石崎 俊・宇津呂武仁・成田真澄・福本淳一 共著
 A5判/192頁/本体2,500円(税別)

ITText 応用Web技術

 市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
 A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

 加藤 隆 著
 A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

 荒木啓二郎・張 漢明 共著
 A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

 駒谷昇一・辰巳丈夫・楠元範明 共著
 A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

 浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
 A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText ソフトウェア開発

 小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
 A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

 松下 温 監修・市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
 A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

 大澤幸生 編著
 A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

 宮地充子・菊池浩明 編著
 A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText 分散処理

 谷口秀夫 編著
 A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText Linux演習

 前野謙二・落合 昭・生野莊一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著
 A5判/224頁/本体2,500円(税別)

ITText インターネットプロトコル

 阪田史郎 編著
 A5判/272頁/本体2,800円(税別)

ITText 組込みシステム

 阪田史郎 著 高田広章 編著
 A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText システムLSI設計工学

 藤田昌宏 編著
 A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText Java基本プログラミング

 今城哲二 編 布広永示・マッキン ケネスジェームス・
 大見嘉弘 共著
 A5判/234頁/本体2,500円(税別)

ITText 人画像処理

 越後富夫・岩井儀雄・森島繁生・鷲見和彦・井岡幹博・
 八木康史 共著
 A5判/258頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報理論

 白木善尚 編 村松 純・岩田賢一・有村光晴・渋谷智治 共著
 A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText Java/UMLによるアプリケーション開発

 布広永示・高橋英男 共著
 A5判/208頁/本体2,600円(税別)

ITText Javaオブジェクト指向プログラミング

 布広永示 編著
 A5判/280頁/本体2,800円(税別)

ITText ユビキタスコンピューティング

 松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著
 A5判/222頁/本体2,800円(税別)

ITText HPCプログラミング

 寒川 光・藤野清次・長嶋利夫・高橋大介 共著
 A5判/246頁/本体2,800円(税別)

ITText 確率統計学

 須子統太・鈴木 誠・浮田善文・小林 学・後藤正幸 共著
 A5判/264頁/本体2,800円(税別)

ITText 離散数学

 松原良太・大島彰昇・藤田慎也・小関健太・
 中上川友樹・佐久間雅・津田正男 共著
 A5判/256頁/本体2,800円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報ネットワーク**

 岡田 正・駒谷昇一・西原清一・水野一徳 共著
 A5判/160頁/本体2,300円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とネットワーク社会**

 駒谷昇一・山川 修・中西通雄・北上 始・
 佐々木整・湯瀬裕昭 共著
 A5判/192頁/本体2,200円(税別)

お申し込みは



オーム社

 101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
 TEL 03 (3233) 0641 FAX 03 (3293) 6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
 本体価格(税別)は変更する場合があります。

論文なんて関係ないと思っている方も 「デジタルプラクティス」に論文を書いてみませんか？

デジタルプラクティスは、本学会が発行している
JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションに次ぐ第4の論文誌です。

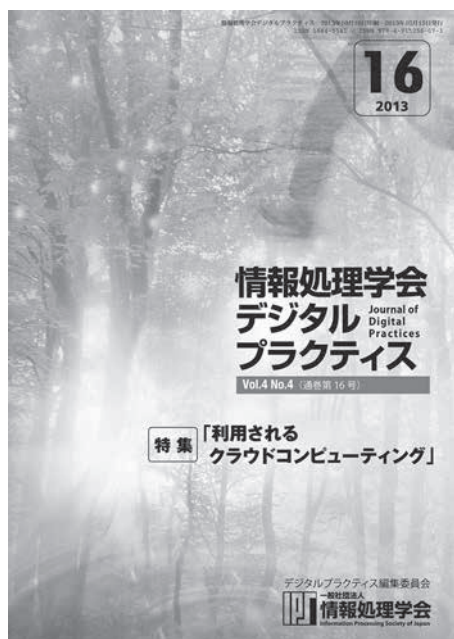
現在、皆様からの論文募集中です。以下の案内をご覧になり奮ってご投稿ください。

▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/cfp-index.html>

JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションは従来の学術的な成果をターゲットにしていますが、**デジタルプラクティスは現場の知恵、創意工夫、教訓など実践的な知見をターゲット**にしています。現場にいる他のIT技術者にとって役に立つ実践的な知見なら自分も持っていると思われた方は少なくないと思います。そんな方にこそデジタルプラクティスの論文を書いていただきたいと思います。

論文の形にまとめることは、まず、世の中の多くの人々に皆様の知見が行き渡ること、使ってもらう機会が増えることを意味します。次に技術者としての長期的なキャリアを考えたとき、論文はこれまで自分がやってきた仕事や成果を永続的な形で残す最も有効な方法の1つになります。つまり、論文は時間と空間を越えて知見をスケールさせるツールなのです。

これからの時代、IT技術者は組織に閉じこもるのではなく、一人一人が世の中から頼られるような存在にならなければならないと思います。それがIT技術者がより充実して活躍できる世の中であり、デジタルプラクティスはそのような世の中の訪れを後押ししたいと思います。



■ 特集タイトル

- 第1号 「サービスサイエンス～顧客中心のサービスサイエンス～」
- 第2号 「事業に活きる標準化の力」
- 第3号 「ICカードが社会を変える」
- 第4号 「価値を抽出するコンサルティング」
- 第5号 「XMLの勘所」
- 第6号 「世界に飛び出す日本のソフトウェア」
- 第7号 「コンタクトセンターコンタクトセンタは進化し続ける」
- 第8号 「事業に活きる我が国発の標準化」
- 第9号 「CIOは決断する」
- 第10号 「高度IT資格制度」
- 第11号 「減災ICT」
- 第12号 「情報が観光を創る・磨く・鍛える」
- 第13号 「ビッグデータに備える」
- 第14号 「要求工学で情報システム開発を変える：ユーザとベンダのWin-Win Wayへ」
- 第15号 「ヘルスケアの現場を支えるIT」
- 第16号 「利用されるクラウドコンピューティング」

実際にデジタルプラクティスへ投稿されるときは、どうぞもっとリラックスしてください。

- ・ 論文を書き馴れていない著者の方々のために、2ページ以内の概要原稿を受け付けるようにしました。
- ・ 投稿準備フォームを用意しました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/outline-guideline.html>
- ・ 各論文ごとに個別に編集担当者を割り当て、共同推敲という著者と編集担当者が協調して論文を改訂するプロセスを取り入れました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/shinsa-tebiki.html>

詳しくは、デジタルプラクティスのWebページをご覧ください。

▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/dp-index.html>

ご意見をお寄せください！

【12月10日頃までにお出しください】

宛 先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html> Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 （E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）
 ※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
<http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

[コード]

- [1] ご氏名
- [2] ご所属 Tel. () -
- [3] E-mail:
- [4] 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
 (e) 学生 (f) その他 4- []
- [5] 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
 (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
 (i) 学生 (j) その他 5- []
- [6] 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- [7] 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- [8] あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- [9] あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
 (a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- [10] 今月号（2013年12月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
 [a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

巻頭コラム：大学で囲碁を学ぶ.....	10-1- []
特集：オープンデータ活用	
1. オープンデータと Linked Open Data	10-2- []
2. デジタルアーカイブとビジュアライゼーション	10-3- []
3. 公共データ活用とデータサイエンティストのかかわり	10-4- []
4. 地理空間情報におけるオープンデータの動向	10-5- []
5. 生命科学分野におけるデータ共有の取り組み	10-6- []
6. オープンデータにおける著作権とライセンス	10-7- []
7. 海外における活用環境整備	10-8- []
8. 国内における活用環境整備	10-9- []
郵便物の欧文手書き住所認識技術.....	10-10- []
鉄道の運行システムにおける情報処理技術の動向：鉄道のダイヤ乱れ時への対応<その2>	10-11- []
ピピリオ・トーク：プログラム書法（第2版）	10-12- []
IT好き放題：ITシステム開発と曖昧性	10-13- []
べた語義：コラム：ラーニングファシリテータの育成.....	10-14- []
べた語義：ソフトウェア開発 PBL の定量的評価	10-15- []
べた語義：これからの大学教育のための大規模オンラインコース基盤 TIES の構築	10-16- []

[11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
- [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- [12-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください.

〔13-1〕 オープンデータ活用：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください.

〔15〕 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください.
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください.

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、論文誌（デジタルプラクティス）、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、国際会議、IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

今回の「オープンデータ活用」特集を組むにあたり、なるべく多くの側面からこのテーマを描こうと考え、非常にバラエティに富んだ方々に執筆をお願いすることにしました。普段は出会うことがない各分野が「オープン」な「データ」という共通項でつながる面白さを感じていただければ幸いです。

また私は、この特集の編集期間中に、スイスのジュネーブで開催された Open Knowledge Conference という世界のオープンデータ関係者が集まる国際会議に参加してきました。欧米各国はもちろん、南米やアフリカ、アジア太平洋諸国からも技術者や研究者、アクティビストなど約 900 人が集まり、開発援助、環境、交通、財政などさまざまなテーマでプレゼンテーションやパネルディスカッション、ハッカソンなどを行いました。ここでも、「オープン」化というコンセプトが人々を強く引きつけ、地域や分野を超えてつないでいることを感じました。

ところで「オープン」に「つなぐ」といえば、世界の

オープンデータ運動を牽引している人々のうちの一人は、World Wide Web (WWW) の開発者であるティム・バーナーズ＝リー氏です。私は 1996 年に初めて WWW に触れましたが、そのときからインターネットの未来を口では語っていたものの、彼が提唱するコンセプトの大きさや可能性をまったく理解できていなかったと今では思います。

オープンデータについても同じことが言えるかもしれません。ビジネスや社会活動や学術研究に与える影響を私たちは論じていますが、想像を超えるインパクトがあったと 10 年後、20 年後に振り返るのではないかという気がしています。

本特集をきっかけに「オープン化」がもたらす未来をワクワクしながら共に作っていく仲間が増えることを願っています。そして、その一歩を進めるのにふさわしい記事の執筆・編集にご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

(庄司昌彦／本特集ゲストエディタ)

次号 (1 月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」システムとソフトウェアの品質

ICT 応用システムおよびソフトウェア (S&S) の品質向上のための課題と取り組み／システムおよびソフトウェアの品質基準の体系化／システムおよびソフトウェア品質向上のための品質測定技術／システムおよびソフトウェアの品質評価—国際規格の動向と SQuaRE 適用の実例—／非機能要件定義／国際標準規格を参照したソフトウェア品質認証制度の構築／利用品質／品質に対応したプロセスデザイン／品質要件の開発プロセスへの適用—ソフトウェア品質会計による適用事例—／品質の知識体系

教育コーナー：べた語義

連 載：古機巡礼／二進伝心／鉄道の運行システムにおける情報処理技術の動向／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		
同封 (A 判 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

■「情報処理」

発 行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000 部
 体 裁 A4 判
 発 行 日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm× 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm× 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm× 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 アドコム・メディア (株) (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

* 原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック ☐ を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア (株) 宛にご請求ください。

■「情報処理」 54 巻 12 号 掲載広告（五十音順）

☐ インタフェース 表 2 ☐ 講談社 表 2 対向
☐ 京都大学 ICT イノベーション事務局 同封

☐ すべての会社を希望

■資料送付先

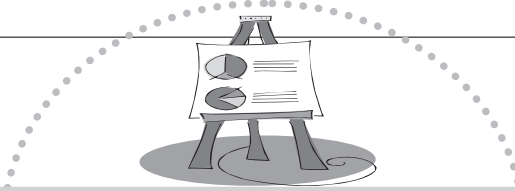
フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
TEL ()	-	FAX ()	-
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア (株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (51口～)

HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立製作所

●●● 賛助会員 (20 ～ 50口)

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI

Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ～ 19口)

Google™

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ～ 9口)

NTT Data

NTT データ (株)

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)